

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	(仮称)ウオロク白根大通店	
建設地	新潟県新潟市南区上塩俵字タフ1912他	
用途地域	工業地域、防火指定なし	
建物用途	物販店,	
竣工年	2020年2月 予定	
敷地面積	9,622.37 m ²	
建築面積	3,166.96 m ²	
延床面積	2,998.47 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2019年7月23日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.3}{41.1} = 1.1$
S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q 2.1.3 3.0
			維持管理	Q 2.1.3 3.5
			設備の更新性	Q 2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.7		耐震・免震・制震・制振	Q 2.2.1 3.0
			信頼性	Q 2.2.4 2.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR 3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR 1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR 1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	LR 2.1.1 4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR 2.2.4 3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR 2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q 3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q 3.3.2 2.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q 3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q 3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ウオロク白根大通店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市南区上塩俣字タフ1912他	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,475時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年7月23日
敷地面積	9,622 m ²	作成者	宮下 拓也
建築面積	3,167 m ²	確認日	2019年7月23日
延床面積	2,998 m ²	確認者	宮下 拓也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>79%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	79%	③上記+②以外の	79%	④上記+	79%	<p>30%:☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆☆</p>	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	79%									
③上記+②以外の	79%									
④上記+	79%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他 特にありません。	
<p>Q1 室内環境 スーパーとして標準的な仕様としております。内部仕上げ材はほぼ全面的に規制対象外の材料を使用しています。また、建物は全館禁煙として環境に配慮しております。</p>	<p>Q2 サービス性能 お客様にとって利用しやすい空間を提供し、維持管理を徹底します。売場の一角に「イートイン」スペースを設け、お客様に憩いの場を提供します。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 建物は平屋建てとし、周囲に圧迫感のない計画としました。また、敷地境界際に植栽を設け、施設利用者以外にも緑環境を提供します。</p>
<p>LR1 エネルギー スーパーとして標準的な仕様としております。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 便所の手洗には「自動水栓」を採用し、節水に取り組んでおります。内装は仕上材のみならず接着剤にも有害物質を含まない材料を使用しております。</p>	<p>LR3 敷地外環境 計画敷地を広く確保し、十分な量の駐車場を確保しました。また、荷捌き車両の動線を確保し、交通渋滞を起こさないよう配慮しました。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される